



## 高知県の小学校英語教育の現状と小学校への外国語教育導入への一私見

NPO 高知県生涯学習支援センター理事長 山本 晋 平

日本の国際化、国際理解学習の一環として、文部科学省中央教育審議会が公立小学校に英語教育を導入するための検討が今年3月始まったことと生涯学習との関連をKOLEC ニュースレター第2号(平成16年5月)で紹介しました。それを受けて、高知県の小学校英語教育の現状がどのようなものか平成16年7月に調査しました(詳細はKOLEC ホームページ<http://www.kolec.jp>をご覧ください)。

高知県下の255校の小学校に調査書を送り、64校の学校から回答が得られました。限られたデータを分析することによって、高知県下の小学校が国際理解教育の一環としての英語活動をどのように考え、どのように取り組んでいるか高知大学教育学部那須教授の監修の下で検討した一部を紹介します。

「高知県下の多くの小学校は、英語活動の必要性を認め、置かれている実態に応じ、さまざまな英語活動の取り組みを推進している反面、指導者、教育課程の編成、指導法、教材・教具の順に課題意識が強く見られる。

このような県下の学校の課題意識は全国的な傾向とほぼ同じと言える。

指導者については、異文化に触れさせたいとの考えから、外国人教師に期待する声は圧倒的に高いが、今後、子どもの意欲や主体的に取り組めるように配慮していくことから担任教師や日本人英語教師との連携をどのように考えていくか考慮する必要がある。

教育課程の編成に関わっては、英語活動の目標・目的をどのように考えるかが英語活動の開始年令や年間授業時数に影響を与えるようである。

目標・目的は英語の理解やコミュニケーションを志向した目標・目的と国際理解教育や異文化理解を志向した目標・目的との二つに分化する傾向が見られる。県下の学校では前者が強調される傾向にあるようだ。また、英語活動の開始年令については早ければ早いほどよいとの立場に立って1学年からはじめるのが一般的な傾向になっており、県下でも同じ傾向が見られる。

一方、国語の基礎力の習得や外国への関心などの観点から、3学年からはじめる学校が3校、また、2学年と5学年のみに実施する学校が1校など例外も見られる。

年間授業時数は学校によって千差万別で学校の苦勞や努力が伺われる。年間一回のみ実施している学校が2校、年間35回実施している学校が5校であった。その他の多くの

学校はそれらの間に入る。

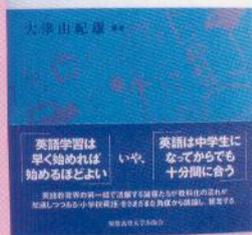
また、英語活動は正規の総合的な学習の時間以外に、生活科や学級裁量の時間に位置づけられている。

今後、各学校では教育課程全体での国際理解教育の考え方や英語活動の目的・目標などを調和して確立していくことが重要である。」(高知県の小学校英語教育の現状、アンケート調査報告平成16年9月より一部抜粋)

小学校英語の教科化は急ぐのではなく、学校のみならずあらゆる教育機会を想定した実施方策の検討や条件整備を行い、教育内容、導入時期、教員の資質、他教科への影響など様々な問題を十分議論しつつ、その間に小学校英語の教員を養成し、その上で小学校での英語の教科化をすべきです。直ちに教科化ではなく、現行の学習指導要領のように、「総合的な学習の時間」における国際理解の一環として、英語活動に対する積極的な態度を養うなどの趣旨で、小学校中学年程度から始めるのが妥当でしょう。小学校ではコミュニケーションをしようとする関心・意欲・態度を身に付けさせ、中学校で言語能力を高めるという方向がよいと考えます。教科としての「英語」に本格的に触れさせるのは、教育体制などが不十分な現時点では中学校からで十分であり、中学校における英語教育を今以上に質量ともに充実させ、本格的な小学校英語の導入は体制などが整う少なくとも5～7年後ではないでしょうか。現時点では、「総合的な学習の時間」に行われる「国際理解学習の一環としての外国語会話等」の目的は「生きる力」をつけること、英語はあくまでも国際理解学習の一環として、体験的に取り組むことが必要であると考えます。

昨年12月6日、公開シンポジウム「公立小学校での英語教育をめぐる」が慶応義塾大学三田キャンパスで開催された結果が本年7月31日に出版されたので紹介します。

小学校での  
英語教育は  
必要か



「小学校での英語教育は必要か」

大津由紀雄 編著 慶應義塾大学出版会  
定価1,890円(本体1,800円+税)  
ISBN4-7664-1093-9

目次

- I 公立小学校での英語教育
- II 国際理解教育と英語教育
- III 言語教育の現場から
- IV 語学教育を考える

# 生涯学習アニメータ11月月例会報告

講演「子どもの心に近づくために・・・」(講師:高知県教育委員会児童生徒支援課 西澤勇司先生)より

## 講演要旨

Q-U(=Questionnaire-Utilities:学級満足度尺度)とS-HPT(S(総合)-H(家)T(木)P(人)の描写テスト)を使って子どもの心理を理解するという新しい取り組みが、高知市内の学校でも取り入れられています。

楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-Uとは、学級集団の状態を的確に把握し、子ども達の意欲を測る2つの尺度「居心地のよいクラスにするためのアンケート、やる気のあるクラスを作るためのアンケート」と「自由記述アンケート」で構成されています。これの長所は短時間で実施でき学級集団の理解やいじめ・不登校の前兆候を知り、対策を取ることができます。

課題描写テストとは、「家と木と人を入れて何でも好きな絵を描いてください」という指示をだすものです。画用紙が1枚なので子どもたちへの心理的負担が少なく、実施が簡単で、その絵は不変でその時のその状態を記録として保存することができます。また、家、木、人の組み合わせが自由であるため、心的自由度が高まり直接的に表現されやすいのです。しかし、気を付けなければならないのは、その1枚の絵を見ただけで「この子はこうだ」と決めつけてはならないことと、1回りの実施だけでなく何回か実施することが望ましいということです。

## まとめ

子どもが好きで教職に就かれた西澤先生。この40才前後の先生たちが、今までの生徒指導のやり方が通用しなくなった現場と理想の狭間でがんばり、うつ病などの病気になる仲間が多くなったことが気がかりだそうです。いくつかの

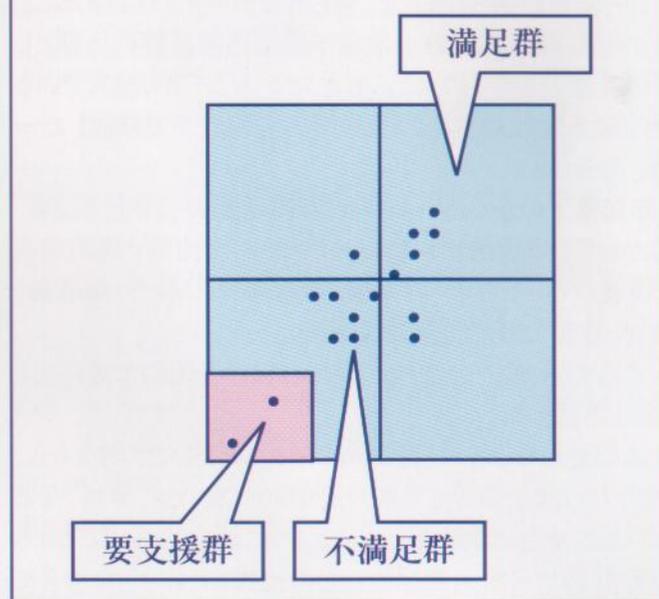
荒れた学校に赴任し、クラスの子どもの心に目を向け、卒業式には子どもたち、保護者、学校側も晴れやかな顔で見送ることができるのが、最高の幸せと感じておられます。

教育を受ける権利・学力を保障し、楽しい学校生活を送ることができる雰囲気作りの1つが、今回の2つの方法であり、有意義に機能して欲しいものです。

(参加者23名)

## <アンケート例>

- ・学校内で私を認めてくれる先生がいると思う  
とてもそう思う 5-4-3-2-1
- ・私はクラスの中で存在感があると思う  
とてもそう思う 5-4-3-2-1



## 遍路研究の集い「世界から見た四国遍路」開催

高知県の風土を生涯学習に活用するため、四国遍路の伝統と歴史を検討してみようと、初の「遍路研究の集い」がテーマを「世界から見た四国遍路」として11月2日に開催された。

会場となった高知県教育センター分館大講義室には、70名を越す参加者があり、熱心にメモをとりながら聞き入った。

この「お四国まわり」という私どもの風土に長く育まれてきた庶民宗教文化を、世界的な見地でアカデミックに検討しようという壮大な試みは、愛媛大学が三年間も取り組んできたもの。10月末には、それを締めくくる公開講座「四国遍路と世界の巡礼」が同大学であり、それにひきつづき、高知でも開催が実現した。

愛媛大学での基調講演のためにフランスから来日した巡礼研究家ジャン・シェリニ氏をはじめ、三年間にわたるシンポジウムのまとめ役を果たされてきた内田九州男教授(愛媛大学法文学科)それに真念道標石研究などで有名な喜代吉榮徳氏(早稲田大学講師・新居浜市東田大師堂住職)にも講演頂いた。



## 講演内容は以下の通り

「江戸時代の四国遍路  
—新しく見えてきたこと—装束・心願・身分—」  
内田九州男(愛媛大学法文学科教授)

「四国遍路道の父・真念について」  
喜代吉榮徳(早稲田大学講師・新居浜市東田大師堂住職)

「日本訪問の印象」  
ジャン・シェリニ(フランス巡礼研究家・文学博士)

# 進路相談会

おかげさまで、この会も第3回目を迎えることとなりました。

少子化の中において、なお増え続ける不登校・高校中退者。彼らと保護者への支援を目的に、その進むべき方向を見出すお手伝いをいたします。

個性的な生き方が求められる時代になりました。周りとは違う進路があって当たり前!!この機会に「自分なりのルール」を探してみませんか?

日頃、指導に当たっておられる学校の先生方、本人と保護者の方、また保護者の方だけ、そしてお友達同士で、お気軽にお越しください。

日時:平成16年12月15日(水) 午前10時~午後12時30分  
場所:教育センター分館 南棟2階 中講義室 (P有り)  
参加費:無料(事前申し込みの必要はありません。)

内容:

10:00~10:30 講演

「不登校生・高校中退者等の進路相談~これまでの事例から~」

講師 友村憲朗(高知県心の教育センター所長)

10:30~11:30 各学校、団体よりメッセージ

11:30~12:30 個別相談

一般教育相談・普通高校・大検・留学・通信制高校・単位制高校・専修学校・中途入学編入可能な学校・専門学校・サポート校・フリースクール・親の会 など

KOLEC 進路電話相談会(相談無料)

電話:088(833)0086

進路のことで困ったり、悩んだら迷わずご連絡下さい。



## 12月月例会 職業適性検査 ~「ジョブカフェこうち」の果たす役割と職業興味検査~

国が策定した「若者自立・挑戦プラン」に基づき、若者のための就職支援相談センターとして、今年の5月末にオープンした「ジョブカフェこうち」をご紹介します。

「ジョブカフェこうち」では、中高生が自己の進路を探索し、将来の職業や生きることを援助するために開発された職業レディネステストを使用していますが、このテストを体験し、理解して頂き、皆様の身近にいる職業等で悩まれている方々の手助けができるようになって頂ければと考えています。

日時:平成16年12月15日(水) 午後2時~3時30分  
場所:教育センター分館 南棟2階 中講義室 (P有り)  
参加費:無料

申込み:電話(088-833-0022)

FAX(088-833-0023)

電子メール(info@kolec.jp)

講演:「職業適性検査・生活診断等と進路指導」

ジョブカフェこうち 副センター長 高嶋美和

\*なお、今回は資料準備の関係上、事前にお申しください。その際お名前とご連絡先をお願いします。

## KOLEC ちびっこしばてんカレッジ WINTER

### ~五台山ミニ四国八十八ヶ所めぐり~

五台山でミニ八十八ヶ所めぐりが出来るって知ってますか?

今、フームのお遍路さん。身近に八十八ヶ所を体験してみましょう。

日時:平成16年12月23日(木) 午前9時集合(雨天中止)

集合場所:五台山ふれあいセンター

高知市五台山2945-2(五台山小学校より東へ300m)

参加費:1,000円(資料代含む)

対象者:小学校4年生以上で足腰に自信のある方ならどなたでも参加できます。

定員:20名(定員になりしだい締め切ります。)

#### 注意事項

シューズは底の厚いタイプを履いてきてください。  
朝は寒いですが、5ヶ所ぐらい回ると暑くなりますので服装を工夫してください。(なるだけ軽装で参加してください。)  
水筒の準備をお願いします。

### ちびっこパソコン教室 第2弾

パソコンを使って年賀状を作ってみよう!!

パソコンを使ってオリジナル年賀状を作ります。どんな年賀状が出来るか楽しみ♪親子で参加も出来るから、すご〜いのが出来ちゃうかも!さっそく、申し込んでね(\*^\_^\*)

日時:平成16年12月11日(土) 午前10時~午後1時

場所:教育センター分館 南棟2階

高知市大原町132番地

参加費:1,000円(はがき1枚・フロッピー・テキスト代含む)

対象者:小学校4年生~6年生(親子での参加可)

定員:10人(定員になりしだい締め切ります。)

# ボランティア募集

## KOLECメンタルフレンド

### 事業概要

登校拒否、不登校や引きこもりの子供たちのほとんどが対人関係を回避していることが文部科学省の調査研究でわかっています。メンタルフレンドとは、そうした子供たちの遊び相手、話し相手や相談相手となって子供たちのよき理解者になってあげられる大学生を中心とした青年ボランティアです。

### ボランティアの活動内容

こどもの希望にしたがって決められます。メンタルフレンドとひとくちにいても役割はさまざまです。その上、かかわり始めてから、子供の希望が変化してきて役割が変わってくる場合も予想されます。最初は楽しい遊び相手として関わっていて、親しくなると子供の悩みを聞く相手になるというケースもあると予想されます。メンタルフレンドとはこのような子供の要求に寄り添う形で変貌を遂げていく存在です。メンタルフレンドになる人に要求される人格はこだわりが少なく許容性が広いということになります。もちろん、社会性があることは必須条件です。

## KOLEC進路相談のアシスタント

### 事業概要

高校中退や不登校者をはじめ、様々な方の進路のお手伝いをしていきます。年に何回かの進路相談会を開き、数多くの方の「自分なりのルール」を見出す機会の場を提供しています。また、電話でも相談に応じ、希望される学校の紹介や施設もしています。

### ボランティアの活動内容

年に何回か開かれる進路相談会のお手伝い(受付・案内・広報等)や、電話相談のための情報提供(各学校・団体の資料請求等)などをお手伝いしていただきます。



## KOLECちびっこしほてんカレッジのアシスタント

### 事業概要

春・夏・冬休みに小学生対象に教室を開いています。今冬は、12月11日に「パソコンを使って年賀状を作ってみよう!!」、12月23日に「五台山ミニ八十八ヶ所めぐり」が開催されます。

### ボランティアの活動内容

教室のテーマや内容を企画し、広報や、当日の進行のお手伝いをしていただくボランティアです。



## 生涯学習ボランティア

### 事業概要

いつでも、誰でも、どこでも学べる社会を目指し、高知県の生涯学習を支援して21世紀の新たな生涯学習の展開をおこなっています。

### ボランティアの活動内容

当センターにおいて、企画・運営の補助。ホームページの修正やパンフレット作成から、企画考案・広報など全般に渡り、生涯学習の普及と支援の提案協力。



## 関連イベントのお知らせ

### 冬休み親子体験教室

## 世界でたった一つのマイ食器

ポーセラーツ(磁器への絵付け)

日時:平成16年12月23日(木)

第1回:午後1時~2時30分

第2回:午後3時~4時30分

場所:龍馬の生まれたまち記念館 ふれあいセンター

2階ふれあいホール

参加費:1,300円~(お茶碗・プレートなど)

対象者:どなたでもどうぞお気軽に!!

定員:各回先着20名

お申し込みは——

アトリエ ストロベリー パティオ 担当:生原  
TEL:(090) 7627-2757

電話随時  
受付中!!

※お子様連れでもOK!! 小学3年生以下は保護者同伴  
※お渡しは、年内です

### 私らしさ大切に

## 世界でたった一つ私だけのマイお茶わん

ポーセラーツ(磁器への絵付け)

日時:平成17年1月15日(土) 午後1時30分~3時30分

場所:こうち男女共同参画センター「ソーレ」

高知市旭町3-115

参加費:500円

対象者:小学校3・4年生

定員:先着30名

持参物:ティッシュ・ゴミ袋(小さめ)・タオル

お問い合わせ・お申し込みは——

こうち男女共同参画センター「ソーレ」(休館日:水・祝日)  
TEL:(088) 873-9100

- ◆駐車場が狭いため、当日は公共交通機関をご利用ください。
- ◆この講座は(財)こうち男女共同参画社会づくり財団の委託事業です。



発行/2004年12月1日  
NPO高知県生涯学習支援センター(KOLEC)  
〒780-8031  
高知市大原町132番地(教育センター分館内)  
電話 088-833-0022 FAX 088-833-0023  
電子メール info@kolec.jp  
URL http://www.kolec.jp  
発行人/理事長 山本晋平  
編集/NPO KOLEC編集室 印刷/中島出版印刷

